

「響」

PTA 広報誌 No. 2

5月30日(土)、生徒たちが待ちに待った第65回体育祭が行われました。生徒たちはもてる力を発揮し、元気いっぱい競技や応援に奮闘していました。またたくさんの保護者の皆様にも応援に足を運んでいただきました。厚くお礼申し上げます。今号では、PTA会長さん、厚生委員長さんをはじめ、参加された保護者の方からの感想とともに、体育祭の様子をお伝えします。本校のWebページにも体育祭の画像など載っていますので、是非ご覧ください。

「爽やかな涙」

PTA会長 加藤 泰和

第65回別海中央中学校体育祭が開催されました。私は来賓席にて観戦させていただきましたが、来賓席からでも感じられる生徒達の頑張りが印象的な大会でした。

中でも最も印象的だったのが閉会式で流した生徒達の涙です。「うれし涙」とも「くやし涙」とも少し印象の違う、本当に爽やかな涙でした。きっと涙の裏には、練習や準備で流したたくさんの汗がある事でしょう。あるいは練習や準備期間中に流した涙もあるかもしれません。

青春時代の経験は成功であれ失敗であれ、それぞれにかけがえの無い価値があるといえます。このたびのA団B団の勝負であれば、勝ち負けという結果それぞれに、青春時代の経験として等しく価値があるのでしょう。

もし経験した価値の重さを決めるものがあるとすれば、それは成功や失敗、勝ちや負けといった結果ではなく「どれくらい真剣に取り組んだか」というプロセスにあると言えます。あの爽やかな涙から、生徒達がどれくらい真剣に準備や練習に取り組んできたのかというプロセスが伝わってきました。

この素晴らしい大会に向けご指導くださいました先生に敬意を表し、大会を支えてくださいましたPTA役員、理事、保護者の皆様に感謝を申し上げます。



「感動の体育祭」

PTA厚生委員会委員長 森川

今年の体育祭のテーマ『全身全霊～勝利の笑顔へ力の限り～』

テーマ通り、カー杯競技に臨む生徒の皆さんの姿に、感動した一日でした。結果発表では嬉し涙、悔し涙にもらい泣きする母達…。終わった後に、A団、B団全員で円陣を組む姿は、五年間体育祭を見させて頂きましたが、初めてだったように思います。とても清々しい気持ちになりました。

PTA種目の玉入れも、結果は2個差と大変盛り上がりました。私は玉が目に直撃し、顔が真っ黒になるというハプニングで笑いを取りました。(一部の保護者の間では、イスとりゲームをやりたいとの声がありました。)

白熱した玉入れが終わり、保護者席に戻ろうとすると、ある先生に呼び止められ封筒を手渡されました。なんと中にはこの原稿用紙が…。「終わるや否や」で驚きました。

U先生！ おかげでその後の競技は、何を書こうか頭を悩ませながらの観戦となりました。生徒の皆さん、先生方、保護者の皆様、おつかれさまでした。



1年A組保護者 高森

初の体育祭、親としても楽しみにしていました。何日も前から朝は長縄とびの練習、授業では団体種目や応援合戦の練習、放課後は部活動…。時々疲れた顔は見せながらも頑張る息子の姿を心配しつつ感心して見てました。

当日、暑くもなく寒くもなく体育祭日和といえる天気の中、グラウンドには生徒達の熱気と真剣な姿がいっぱいでした。選抜種目では1年生もちろん頑張っていました、学年があがるにつれ、大人顔負けの立派な体格…。小学校卒業したばかりの1年生がかなうわけもなく、3年生の貫禄勝ちって感じがしました。団体種目では転んでやり直しになってもあきらめずに頑張る姿に感動した反面、スピードや力がある分転んだ時の痛々しさも大きく見ていてハラハラする場面もありました。また、先輩お母さんから「応援合戦だけは絶対見たほうが良い」と前もって聞いていたのですが当日見て納得！！3年生が春休みから考えていたという、生徒達が作ったと思えない程完成度の高いパフォーマンス、格好良かったし、笑ったりと存分に楽しませてもらいました。最後の結果発表のとき泣いていた女子生徒を見て、今までどれだけ真剣に取り組んでいたかが伝わってきた感じがしました。最後の学級対抗リレーも見ていてとても楽しかったです。クラス一丸となりバトンをつないでいく姿、抜きつ抜かれつつ最後まで結果の分からない勝負に我が子だけに限らず大きな声で応援せずにはいられませんでした。

1日中参観させていただきましたが、見応えがあり、あっという間の1日でした。3年生を中心にA団、B団とも団結し練習を頑張り、本番を迎えたのが十分に伝わってきました。偉大な先輩の後ろ姿を見て、1、2年生が来年より一層頑張ってくれることを期待しています。来年の体育祭を今から楽しみにしています。本当にお疲れ様でした。



「響」

PTA 広報誌 No. 3

2号に引き続き、体育祭内容です！保護者からの感想です！！

1年A組・3年B組保護者 平岡

息子にとっては初めての、そして娘にとっては最後となる今年の体育祭。今年こそは開会式から閉会式まで、すべてを見届けようと私も楽しみにしていました。

しかし体育祭の数日前に「肩が痛くて腕が上がらない・・・」と娘。出場予定だった種目も急遽変更をお願いすることになりました。急な変更にもかかわらず、快く対応してくれたクラスの友達、先生には本当に感謝しています。

当日は、あいにくの曇り空で寒い中でしたが、子ども達がかいっぱい頑張っている姿にとっても感動しました。3年生が春休みから準備してきた応援合戦もA団、B団共に見応えがあり、素晴らしいものでした。お互いのクラスや団を称え合う姿も、さわやかで気持ちが良く、心に残る体育祭になりました。

良き伝統を受け継ぎ、来年の体育祭も更に盛り上げてほしいと思います。先生方のご指導ありがとうございました。

生徒の皆さん、感動をありがとう。本当にお疲れ様でした。



2年B組保護者 廣木

平成27年5月30日、全身全霊～勝利の笑顔へ、力の限り～というテーマのもと第65回体育祭が行われました。

生徒と先生が一丸となり、プログラムが進んでいくにつれ盛り上がる様子は観ている私にも伝わってきました。

徒競走、リレー、一人ひとりが精一杯力の限り最後まで諦めずに完走していて素晴らしかったです。足の痛みを堪えながらも頑張っている生徒の姿を見て胸が熱くなりました。

団対抗応援合戦では、家に居てはわからなかった練習の成果、子ども達の輝く表情を知ることができました。皆、笑顔で楽しそうに活動しているのを見てみると、こちらまで笑顔になり改めて笑顔っていいな！と思いました。

各クラスの団旗も、それぞれが素晴らしい力作揃いで放課後残ってアイディアを出し合い協力して出来た賜物だと思うと感動もひとしおでした。

学級対抗混種リレーでは、何度も練習をしたのに本番ではうまくいかずに悔し涙を流した子、練習の時よりもうまくいき喜んだ子、それぞれ違う感情でも結果、力の限り戦ったことには変わりあ

りません。素晴らしかったです。

毎日、朝練習をしていた長縄とびでも先生方の熱意ある指導、そして子ども達が心を一つにして落ち着いて慎重にプレイをしているのがすごく伝わり、息を吞んで、ドキドキしながら心の中で応援していました。

今年度の体育祭でも子ども達の成長を目のあたりにすることができ、良かったです。

生徒、先生、保護者の皆様、本当にお疲れ様でした。



原稿のご協力、ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。